

再 評 価 項 目 調 書

資料 2-5

再評価実施要件		事業採択後(年) 再評価後(年) その他(社会情勢の変化)				
1 事業概要	事業名	維新百年記念公園 都市公園事業				
	事業場所	山口市吉敷				
	事業主体	山口県	事業方法	国庫補助 単独		
	財源・負担割合	国 50 %	県 40 %	市町 10 %	その他 %	
	事業期間	《事業採択時 再々評価時 計画変更時》 昭和 55 年度 ~ 平成 22 年度 《平成 16 年度》				
	総事業費 (内用地補償費)	《 12,900 百万円》 22,100 百万円 (3,360 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	14,280 百万円 (3,338 百万円)	進捗率 (内用地補償費)	65 % (99 %)
	事業目的	・山口県のスポーツ文化活動及びレクリエーション、コミュニティ活動の拠点として計画し、利用者の多様なニーズに応えるための公園施設整備を行い、誰もが気軽に利用できる公園とする。 ・陸上競技場の整備については、やまぐち未来デザイン21第五次実行計画に、生涯スポーツ振興の拠点施設整備として、重点事業の位置付けがあり、既設主陸上競技場を改修して耐震性を確保する。				
	事業内容	主陸上競技場(改修)、補助競技場(第3種公認陸上競技場)(新設)、テニスコート・弓道場・多目的体育館・野外音楽堂・ラグビーサッカー場・多目的広場等の整備				
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化	社会的評価	・主陸上競技場の改修については、平成17年2月に維新百年記念公園陸上競技場整備基本計画(素案)についてパブリックコメントを実施し、その結果を踏まえて維新百年記念公園陸上競技場基本計画を平成17年4月末に策定。			
		当地区の社会経済情勢	・山口市の新市計画(新県都のまちづくり計画)における、スポーツ・レクリエーション活動の推進という施策の中に、平成23年開催「国民体育大会」を視野に入れた施設の整備として、陸上競技場の整備が位置付けられている。			
		必要性	・現在の陸上競技場は、築後40数年が経過しており、平成14年度の構造耐震診断からは、耐震補強が必要と判断されている。 ・平成16年2月に、第66回国民体育大会の主会場として、維新百年記念公園の陸上競技場が決定された。 ・日本陸上競技連盟の公認陸上競技場規定に第1種陸上競技場を改修する場合は、第3種公認陸上競技場の補助競技場が必要であると記されている。	中項目評価	大項目評価	
		適時性	・主陸上競技場の耐震補強について、平成23年度に実施される第66回国民体育大会の開催に間に合わせるためには、この時期に着手する必要がある。	中項目評価	A ・ B ・ C	
地元の推進体制等の状況及び地元の意向	【地元の推進体制等の状況】 ・維新百年記念公園陸上競技場整備基本計画の策定には、パブリックコメントを実施し、ワークショップによる設計等、県民の意見を踏まえながら進めている。 【地元の意向】 パブコメ意見 ・整備方針について3件 ・スタンド計画について9件 ・フィールド計画について2件 ・諸室計画について8件 ・附帯設備計画について1件 ・整備スケジュールについて1件 ・その他3件	中項目評価	a b			

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	事業の投資効果 整備効果発現状況 (H 年度まで)	本公園は、山口県の中核となる都市公園として、多くの県民に利用されており、H16年度実績では、有料施設で年間68万人の利用者がいる。	大項目評価 A・B・C																																								
	費用対効果分析		<p style="text-align: right;">単位：百万円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主な項目</th> <th>再々評価時 (基準年：H15)</th> <th>再々再評価時 (基準年：H18)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">便益 (B)</td> <td>直接利用価値</td> <td style="text-align: center;">5,490</td> <td style="text-align: center;">23,004</td> <td></td> </tr> <tr> <td>間接利用価値</td> <td style="text-align: center;">27,148</td> <td style="text-align: center;">29,158</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td style="text-align: center;">32,638</td> <td style="text-align: center;">52,162</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>事業費</td> <td style="text-align: center;">23,735</td> <td style="text-align: center;">35,186</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: center;">4,503</td> <td style="text-align: center;">9,724</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td style="text-align: center;">28,238</td> <td style="text-align: center;">44,910</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B / C)</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>「改訂 大規模公園費用対効果分析手法マニュアル」(H16.2)による算出を基本とするが、直接利用価値の計測については旅行費用法へ有料施設利用者実数を反映させ、間接利用価値の計測については効用関数法を用いて算定した。</p> <p>【費用対効果分析における特記事項】</p> <p>H15時点の費用対効果分析マニュアルでは、間接利用価値を算出する場合、代替法により算出を行っていたが、H16・2月にマニュアルが改訂され、間接利用価値を算出するにあたっては効用関数法が用いられることとなった。</p>		区分	主な項目	再々評価時 (基準年：H15)	再々再評価時 (基準年：H18)	備考	便益 (B)	直接利用価値	5,490	23,004		間接利用価値	27,148	29,158		総便益	32,638	52,162		費用 (C)	事業費	23,735	35,186		維持管理費	4,503	9,724		その他				総費用	28,238	44,910		費用便益比 (B / C)		1.2	1.2	
	区分	主な項目	再々評価時 (基準年：H15)		再々再評価時 (基準年：H18)	備考																																						
便益 (B)	直接利用価値	5,490	23,004																																									
	間接利用価値	27,148	29,158																																									
	総便益	32,638	52,162																																									
費用 (C)	事業費	23,735	35,186																																									
	維持管理費	4,503	9,724																																									
	その他																																											
	総費用	28,238	44,910																																									
費用便益比 (B / C)		1.2	1.2																																									
貨幣価値化困難な便益		<p>【+ 要因】</p> <p>気候緩和、騒音軽減 良好な景観の保全、提供</p> <p>【- 要因】</p>																																										
(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し	事業進捗の現状		<ul style="list-style-type: none"> ・現事業面積44.7haのうち43.5haの用地買収が完了している。 ・テニスコート、スポーツ文化センター、弓道場、野外音楽堂等43.5haを供用開始している。 ・残事業は、補助競技場、主陸上競技場、周辺外構、園路広場、植栽の整備である。 	大項目評価 A・B・C																																								
事業進捗の今後の見通し		<ul style="list-style-type: none"> ・本公園は、山口県のスポーツや文化活動の拠点となる都市公園であるため、県民の多様なニーズの変化に対応した施設整備を行い、誰もが気軽に利用できる公園となる。 																																										
事業計画変更の必要性	<p>【事業計画変更の必要性の有無】</p> <p style="text-align: center;">(有) 無</p> <p>【事業計画変更の理由及び内容】</p> <p>平成23年の第66回国民体育大会の主会場に本公園の陸上競技場が決定し、老朽化が著しい陸上競技場を含む周辺施設を国体を契機に整備するため事業計画の変更を必要とする。</p>																																											

2 再評価の視点	(4) コスト縮減・代替案等の可能性	コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設発生土や建設発生材等の有効利用によるイニシャルコスト（建設費）の縮減や、自然エネルギーを利用した施設整備によるランニングコスト（維持管理費）の縮減を行い、トータルコストの縮減を行う。 	<table border="1"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>大項目評価</td> </tr> <tr> <td>a b</td> <td rowspan="2">A ・ B ・ C</td> </tr> <tr> <td>中項目評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td>a b</td> <td></td> </tr> </table>	中項目評価	大項目評価	a b	A ・ B ・ C	中項目評価		a b	
		中項目評価	大項目評価									
	a b	A ・ B ・ C										
中項目評価												
a b												
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替案の可能性はない 	<table border="1"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>大項目評価</td> </tr> <tr> <td>a b</td> <td rowspan="2">A ・ B ・ C</td> </tr> <tr> <td>中項目評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td>a b</td> <td></td> </tr> </table>	中項目評価	大項目評価	a b	A ・ B ・ C	中項目評価		a b			
中項目評価	大項目評価											
a b	A ・ B ・ C											
中項目評価												
a b												
(5) 環境への影響と配慮	<p>【環境への影響事項：動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場の改修にあたっては、コンクリート殻や残土といった廃棄物が発生するため、再利用できるよう品質の確保に努める。さらに工事影響範囲を最小限にとどめ公園内環境の保全に努める。 <p>【環境への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模改修を公園内でおこなう中、地球温暖化、ヒートアイランド現象への取り組みとして、公園内トータルとしての緑地の量の確保に努める。 		<table border="1"> <tr> <td>大項目評価</td> </tr> <tr> <td>A ・ B ・ C</td> </tr> </table>	大項目評価	A ・ B ・ C							
	大項目評価											
A ・ B ・ C												
(6) 地域の立地特性	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画区域内にある都市公園であるため、自然と調和した施設計画を行う。 											
3 事業実施主体案 対応方針	総合評価	<p style="text-align: center;">継続 見直し継続 中止 休止</p>										
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 山口国体の開催を契機としてはいるが、この事業を継続し、老朽施設を改築することで、障害者や高齢者にやさしい公園となり、多くの利用者の多様なニーズに応えられる公園となる。 										
	備考											